



新年度も1ヶ月が過ぎ新しい環境での生活にも少しずつ慣れてきたでしょうか。教室では新年度になって利用時間やメンバーが変わって「あれ、〇〇くんは？」と昨年度同クールのお友だちがいないのを気にするお子様、はじめましてで緊張感たっぷりのお子様、幼稚園でがんばってお疲れ気味のお子様等、いろいろなご様子が見られました。1ヶ月過ぎてそういったご様子も落ち着き、先生たちと一緒に遊んでいる元気な笑い声が教室に響いています。

さて、てらぴあぼけっと住吉駅前教室では5月より新スタッフのおりかさを迎えました。他のスタッフと同様、本部の研修と試験の後に療育に入ってまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



～自己紹介～

児童指導員 おりかさ 先生



「5月から働かせていただきます。おりかさです。小学校で特別支援教室支援員として、13年間教育の現場で働いておりました。療育は初めてですが、お子様と保護者の皆様の笑顔が増えるように私も笑顔全開でがんばります。どうぞよろしくお願ひします。」



Let's Try!!

ホームエクササイズ 【要求語（マンド）】

全てのお子様に導入されるプログラムです。

「ちょうだい」「かして」「あけて」「取って」「抱っこして」等の何かを得たいという要求で使われます。友だちと遊ぶ中での「(仲間に)入れて」「私の番!」「ぼくも」等の言葉もマンドと言えます。

また、「やめて」「どいて」「やりたくない」という否定の要求もマンドには含まれます。

お子様が自分の要求や気持ちを伝えるのにマンドのプログラムはとても重要です。

力で取ろうとしたり相手を押しのけたり等の直接行動の発生と抑制に直結することなので、教室ではまず最初に取り組み、先生相手に出せるようになったものはご家庭や集団でも実用できるように進めていきます。

<マンドの段階>

- 1, アイコンタクトの形成
- 2, 口を動かす
- 3, 何かしらの音を出す
- 4, 音の数を合わせる
- 5, 音の変化/発音の明瞭性
- 6, 言語拡張



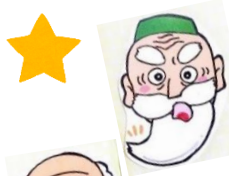
どの段階をターゲット(ねらい)にするかを決めて取り組んでいます。お子様のねらいやご様子は帰りのフィードバックで担当者におたずねください。

お子様のマンドを引き出すためには、少し焦らして要求を高めるような関わりは有効です。特に左記の段階をあげていこうとする時、すぐに要求を叶えず待つことも必要になってきます。ただ、発語を安定させるまでの間は音が出る時と出ない時を何度も繰り返しながら徐々に音の出る頻度が上がっていくことが多いです。数回促しても出てこなかった際にはいったんお子様の要求を叶えてまた機会を作りましょう。

また、教室は集中して課題に取り組むような環境設定をしています。ご家庭ですぐには同じようにできないこともあるかもしれません。ぜひご様子を教室に共有してください。成功率をあげていけるように一緒にサポートの仕方を考えていきましょう!



5月の手遊び歌 ♪とんとんとんとん ひげじいさん♪



- ♪とんとんとんとん ひげじいさん (アンパンマン)
- ♪とんとんとんとん こぶじいさん (しょくばんまん)
- ♪とんとんとんとん てんぐさん (カレーパンマン)
- ♪とんとんとんとん めがねさん (ドキンちゃん)
- ♪とんとんとんとん 手は上に (バイキンマン)



♪きらっきらっきらっきらっ 手はおひざ ピ! (ぼくチーズ わん)

※ () はアンパンマンバージョンです